Energia

報 道 資 料

平成16年3月17日
中国電力株式会社

島根原子力発電所2号機の手動停止について

当社，島根原子力発電所2号機（沸騰水型，定格電気出力82万キロワット）は，通常運転中のところ，平成16年2月22日（日）22時15分頃から原子炉格納容器内に設置している冷却機の凝縮水量（注1）に僅かな増加傾向が認められたため，これまで関連するパラメータの監視を強化してきましたが，2月24日（火）には凝縮水量は，通常値まで戻っていました。

その後，3月9日（火）15時40分頃から再び凝縮水量が増加し，本日18時30分頃より格納容器床ドレン量（注2）の増加が見られるため，保安規定に定める運転制限値に比べて十分に低い値であり安全上問題となるものではありませんが，念のため原子炉を停止して点検を行うこととしました。

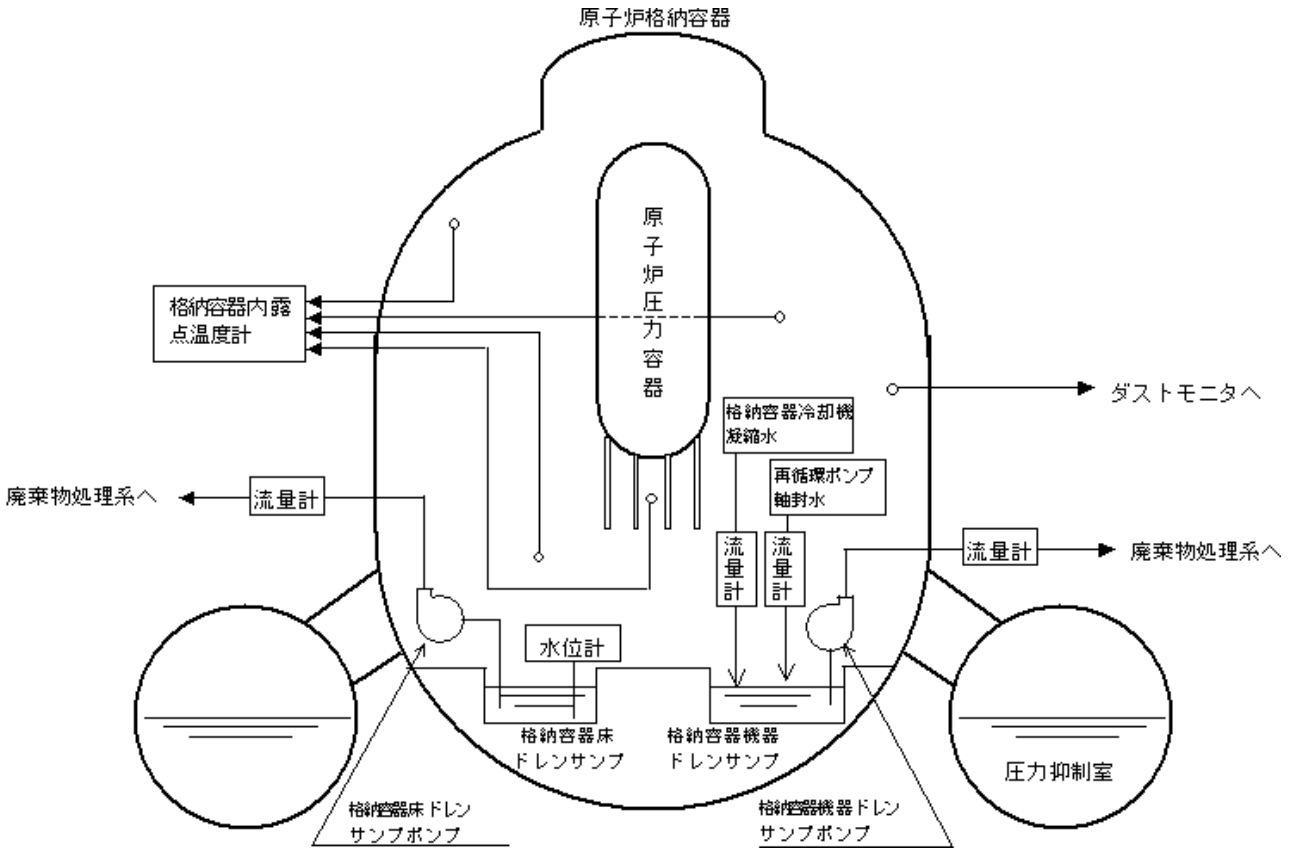
このため，本日20時から出力降下を開始し，明日7時には原子炉を停止する予定です。

この事象による放射性物質の放出はなく環境への影響はありません。

以上

添付　島根2号機原子炉格納容器内漏えい監視装置概要図

（注1）冷却機は原子炉格納容器内を冷却するもので，この冷却に伴い凝縮水が発生する。
（注2）原子炉格納容器内で漏れ出た水が床に広がり，集められたもので通常発生しない。

添付

島根2号機原子炉格納容器内漏えい監視装置概要図